

伊勢原に春の訪れを告げる節分祭！

2020年2月3日

今年は、年明けから記録的な暖冬で雨ばかりと嘆いていたら、春の訪れが近い2月をもう迎えてしまいました。

さて、立春を翌日に控えた3日の月曜日、市内の三神社でも福を呼ぶ節分祭の豆まきが盛大に開催され、駆け足で廻って参りました。

桜が咲く頃の大変暖かな日差しの下、どちらの会場でも平日にも関わらず、大勢の善男善女の皆様に賑わいました。



まず訪れたのは伊勢原大神宮。

こちらでは午前中、市内の幼稚園と保育園の可愛い園児の皆さんが、クルリンと一緒に元気一杯、大きな声で福豆を撒きました。境内には大勢のご父兄や地元の皆様が詰めかけました。



続いてケーブルカーで、標高 700mの大山阿夫利神社下社へ上がりました。

こちらでは午後の部として還暦を迎えられた方を含む170人余の行事司の皆さんが、拝殿の前に設えた特設ステージから、ゲストのお馴染み豊響関らと共に福餅を盛大に撒き、多くの観客で賑いました。



最後に三ノ宮比々多神社を訪ねました。
比々多神社独自の風習として、神事の最中に社殿の奥に潜んでいた赤鬼・青鬼が現れ、参列者から豆で追われ外へ逃れます。
沢山の豆が撒かれるので、床は豆だらけになりました。



例年地元小学校では、地域の伝統文化のために短縮授業で協力をいただいている
そうで、その小学生を中心に今年も境内は人が溢れます。
観客の皆さんは大きな袋を掲げ、福を呼び込もうと声を上げます。



比々多神社の節分祭といえば、この高田川親方一行です。
特に竜電関と輝関の両幕内力士は、お二人とも先場所を10勝5敗と大きく勝ち越しており期待がかかります、また今年こそと地元大磯出身の湘南之風関にも盛んな声援が飛びました。

なお今年平浩二さんはスケジュールが合わず、名曲「バスストップ」は残念ながら聴けませんでした。